

<p>【イベント名】 第3回 国立大学病院国際化プロジェクト 国際化担当者会議</p>	<p>【概要】 本会は例年遠隔接続を支援することで、本会場での参加ができない方も遠隔から参加することが可能となっている。今回は21の遠隔地を接続して実施された。我々が担当する提言4では、本年度実施する各国における遠隔医療ワークショップや、アジアでの医工連携シンポジウムなど国際化についての活動を報告した。また、事前にとった遠隔教育についてのアンケートの結果を発表し、抽出された問題について議論を行った。</p>
<p>【期日】 2019.11.18</p>	
<p>【会場】 大阪大学医学部附属病院(吹田キャンパス), 秋田大学, 福井大学, 富山大学, 山梨大学, 千葉大学, 東京大学医科学研究所, 筑波大学, 京都大学, 岡山大学, 徳島大学, 高知大学, 香川大学, 鳥取大学, 山口大学医学部附属病院(小串キャンパス), 山口大学(吉田キャンパス), 佐賀大学, 宮崎大学, 茨城西南医療センター病院, 九州大学病院 (すべて日本)</p>	
	
<p>モニタに映し出される接続施設。</p>	<p>本会場である大阪大学の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：大阪大学</p>
	<p>日本で外国人が渡航移植（生体臓器移植）を希望される場合の問題点</p> <p>近年大阪大学には移植医療を希望される外国人の問い合わせ、紹介が増加してきている。外国籍、訪日、在日、公的保険があるだけでなく、通常の外国人医療よりさらに複雑な環境が考えられる。死体臓器移植が多くない日本の特殊性を考えると、今後問い合わせが増える可能性がある。生体臓器移植の場合は、様々な複雑で多様なパターンが考えられるため一律の対応が難しい。</p> 
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>福井大学の様子。</p>	<p>香川大学の様子。</p>
<p>撮影場所：福井大学</p>	<p>撮影場所：香川大学センター</p>